

中国思想中国哲学専攻分野科目

授業科目	講義題目	単位	担当教員氏名	曜日・講時	平成30年度以前入学者 読替先授業科目
中国思想特論Ⅰ	唐五代思想・学術史研究	2	齋藤 智寛	前期 木曜日 2講時	
中国思想特論Ⅱ	明末儒仏道三教交渉史研究	2	三浦 秀一	後期 木曜日 2講時	
中国思想特論Ⅲ	道教の世界	2	池平 紀子	前期集中 その他 連講	
中国思想史総合演習Ⅰ	中国思想研究上の諸問題1	2	齋藤 智寛 三浦 秀一	前期 金曜日 5講時	
中国思想史総合演習Ⅱ	中国思想研究上の諸問題2	2	三浦 秀一 齋藤 智寛	後期 金曜日 5講時	
中国思想文献研究演習Ⅰ	清代学術の研究	2	齋藤 智寛	前期 水曜日 2講時	
中国思想文献研究演習Ⅱ	荒木見悟博士「朱子の哲学」研究(続)	2	三浦 秀一	後期 水曜日 2講時	

科目名：中国思想特論 I / Chinese Thought (Advanced Lecture) I

曜日・講時：前期 木曜日 2 講時

Semester：1 学期 単位数：2

担当教員：齋藤 智寛

コード：LM14204, 科目ナンバリング：LGH-PHI610J, 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：唐五代思想・学術史研究
2. Course Title (授業題目)：Study in the thought and scholarship of the Tang and Five dynasties period
3. 授業の目的と概要：唐五代の儒仏道三教思想について、学術の形式や思想活動の場、また史学や医学、文学などの文化全般との関わりに注意しながら考察する。
4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)：This course examines the three doctrines of Confucianism, Buddhism, and Daoism in the Tang and five dynasties era, paying attention to their relationship to academic forms, a place where scholars conduct their studies, and culture in general, including history, medicine, and literature.
5. 学習の到達目標：唐五代における思想文化の諸相について基本的な理解を得るとともに、思想史研究の視点・方法を理解する。
6. Learning Goals(学修の到達目標)：Students have to gain a basic understanding of the various aspects of thought and culture in the Tang and five dynasties era and understand the perspectives and methods of research on the history of thought.
7. 授業の内容・方法と進度予定：
 - 1、導入
 - 2、初唐における儒仏道三教の古典注釈学 (1)
 - 3、初唐における儒仏道三教の古典注釈学 (2)
 - 4、初唐における儒仏道三教の古典注釈学 (3)
 - 5、道仏二教の一切経
 - 6、道仏二教の戒律と制度
 - 7、盛唐の学術と文化 (1)
 - 8、盛唐の学術と文化 (2)
 - 9、古文家の三教思想 (1)
 - 10、古文家の三教思想 (2)
 - 11、唐代後期の三教交渉 (1)
 - 12、唐代後期の三教交渉 (2)
 - 13、晩唐の思想と文化
 - 15、五代十国の思想まとめ
8. 成績評価方法：

レポート (100%)
9. 教科書および参考書：

教科書は使用せず、プリントを配布する。参考書は講義中に紹介する。
10. 授業時間外学習：紹介された参考書や原典は出来るだけ読んでみることに。
11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○"Indicates the practicalbusiness
《実務・実践的授業/Practicalbusiness》
12. その他：なし

科目名：中国思想特論Ⅱ／ Chinese Thought (Advanced Lecture) II

曜日・講時：後期 木曜日 2 講時

セメスター：2 学期 単位数：2

担当教員：三浦 秀一

コード：LM24205, 科目ナンバリング：LGH-PHI611J, 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：明末儒仏道三教交渉史研究

2. Course Title (授業題目)：Study on three teachings during the late Ming Era

3. 授業の目的と概要：本講義は、明末における儒仏道三教思想の実態解明を目的として、とくに嘉靖期から万暦期にいたる時期の知識人士大夫による三教観、仏者と一般士人との交流、老子注に見える三教一致思想などを解説する。

4. Course Objectives and Course Synopsis (授業の目的と概要)：The purpose of this lecture is to clarify the actual situation of the three teachings in the first half of the Ming dynasty. It will be conducted by explaining the religious policy of the Ming dynasty, the view of the three teachings by the intellectual scholar official, the criticism of Taoism by the Buddhist priests, the idea of the three teachings in Laozi's notes, and so on.

5. 学習の到達目標：明代思想史における儒仏道三教の位置づけを把握する。
三教思想の個別形態を理解する。

6. Learning Goals (学修の到達目標)：Students will understand both the position of three teachings and their individual aspects in the intellectual history of the late Ming Era.

7. 授業の内容・方法と進度予定：

第1回：ガイダンス

第2回：研究史概観

第3回：薛蕙・王道の老子注と羅欽順

第4回：嘉靖後期の老子注と莊子注

第5回：嘉靖後期の奉仏人士

第6回：王世貞の生涯と思想宗教①

第7回：王世貞の生涯と思想宗教①

第8回：耿定向の生涯と王学理解

第9回：王世貞の後継①

第10回：王世貞の後継①

第11回：方冊大藏経刊行の思想的影響

第12回：焦竑の三教思想

第13回：楊起元の三教思想

第14回：万暦における道書の編纂

第15回：まとめ

8. 成績評価方法：

レポート (50%)

授業時間内における討論への参加度 (50%)

9. 教科書および参考書：

教科書は使用せず、プリントを配布する。参考書は授業時間内に紹介する。

The text will be handed out during the course. Reference books will be introduced during class.

10. 授業時間外学習：授業で解説した文献史料を改めて精読する。その文献に記された内容の思想史的位置を考える。

Carefully read the historical documents explained in the class. Consider the ideological position of the content described in the document.

11. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

《実務・実践的授業/Practical business》

12. その他：なし

特になし。

科目名：中国思想特論Ⅲ／ Chinese Thought (Advanced Lecture) III

曜日・講時：前期集中 その他 連講

Semester：1 学期集中 単位数：2

担当教員：池平 紀子

コード：LM98814, 科目ナンバリング：LGH-PHI612J, 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：道教の世界

2. Course Title (授業題目) : The world of Daoism

3. 授業の目的と概要：中国で発祥した道教は、不老不死の神仙となることを目指し様々な術や儀礼を行う宗教である。それは、儒教・仏教とともに三教の一つとして、相互に対立や習合をしながら発展してきた。また、道教は日本を含む東アジアの宗教文化に多大な影響を与えてきたが、日本においては直接的な形ではなく密教やその他の中国文化に溶け込んだ形で受容された。本科目では、後漢末における道教の成立から唐代までの歴史的な流れを概観する。また、現代の東アジアにおける道教文化についても触れる。

4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要) : Daoism, which originated in China, is a religion that performs various arts and rituals with the aim of becoming a Shinsen of immortality. It has had a great influence on the religious culture of East Asia, including Japan. However, in Japan, it was less accepted in its direct form, and was accepted as a blend of esoteric and other Chinese culture. In this lesson, we will explain the history of Daoism from its birth at the end of the Eastern Han to the Tang Dynasty. In addition, we will take a look at the modern Daoist culture in East Asia.

5. 学習の到達目標：本講義終了時に、道教の思想と歴史についての知識を深めること、関連する漢文資料を読解すること、またそれらが東アジア文化の中にどのように根付いていったのか、説明できるようになることを到達目標とする。

6. Learning Goals(学修の到達目標) : The goal of this lecture is to deepen a knowledge of Daoist philosophy and history, to read related Chinese materials, and to be able to explain how they have taken root in East Asian culture.

7. 授業の内容・方法と進度予定：

【授業方法】講義形式を基本とするが、演習形式も取り入れる。

【進度予定】

- 第1講 インTRODクシヨン：現代の東アジアに見られる道教文化
- 第2講 老子の思想：老子伝と『道德経』、道の生成論と統治論
- 第3講 初期道教1：五斗米道の教団と教法
- 第4講 初期道教2：太平道の教団と教法、黄巾の乱
- 第5講 江南の道流1：葛氏道の系譜と『抱朴子』、煉丹法
- 第6講 江南の道流2：上清派の系譜と経典、存想法
- 第7講 北魏の道教：寇謙之の新天師道、太武帝の廃仏と疑経
- 第8講 劉宋の道教：陸修静の新天師道、靈宝経典と三洞説
- 第9講 北周の道教1：仏道論争と武帝の廃仏
- 第10講 北周の道教2：通道観と『無上秘要』の編纂
- 第11講 隋の道教：大興城・揚州・茅山・天台山における道教と仏教
- 第12講 唐の道教1：唐創業の伝説と道教優先政策
- 第13講 唐の道教2：外丹の隆盛と内丹の成立
- 第14講 唐の道教3：洞天福地説
- 第15講 確認テスト

8. 成績評価方法：

到達目標の達成度で評価をおこないます。具体的には下記のような項目と配点で評価します。

- (1) 予習状況と授業への積極的な参加 50%
- (2) 学期末の確認テスト 50%

9. 教科書および参考書：

【テキスト】

- ・横手裕著『中国道教の展開（世界史リブレット）』（山川出版社、2008年、729円+税）
- ※同じ著者ですが、参考文献に挙げている『道教の歴史』ではありません。
- また、適宜プリントを配布します。

【参考文献】

- ・横手裕著『道教の歴史（宗教の世界史6）』（山川出版社、2015年）
- ・増尾伸一郎 丸山宏編『道教の経典を読む』（大修館書店、2001年）
- ・三浦國雄著『不老不死という欲望』（人文書院、2000年）
- ・秋岡英行 垣内智之 加藤千恵著『煉丹術の世界』（大修館書店、2018年）
- ・神塚淑子『道教講義10講』（岩波新書、2020年）

10. 授業時間外学習：受講者は予め配られた資料とテキストを予習し、漢文の原文は書き下し文と日本語訳を作っておくこと。

分からない語句は調べておくこと。

1 1. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

《実務・実践的授業/Practicalbusiness》

1 2. その他：なし

科目名：中国思想史総合演習 I / History of Chinese Thought(Integration Seminar)I

曜日・講時：前期 金曜日 5 講時

セメスター：1 学期 単位数：2

担当教員：齋藤 智寛・三浦 秀一

コード：LM15501, 科目ナンバリング：LGH-PHI613J, 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：中国思想研究上の諸問題 1
2. Course Title (授業題目)：Major Issues in the Research of Chinese Philosophy 1
3. 授業の目的と概要：受講者各自が中国思想、哲学についての研究テーマを選択して研究発表を行い、研究水準を向上させるとともに、明晰な表現力、質問に的確に答え、効果的に人を説得する能力も涵養する。さらには、他の受講生の発表への批評を通して、他者の意見を批判的に吟味する機会とする。
4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)：The aim of this course is to supply students with an opportunity of delivering their own essay on any philosophical topic they choose, and thereby to help them to enhance their level of research, to develop their ability to express their thought clearly, to respond to each question accurately, and to persuade others effectively. Students are also given a chance of thinking critically about other opinions, through commenting on essays of other students.
5. 学習の到達目標：みずからの研究テーマに関連する学術論文を作成するうえで必要な基礎的技術および能力を向上させることができる。
6. Learning Goals(学修の到達目標)：Students will develop their own fundamental skills that enable to summarize preceding research and establish their own research topic.
7. 授業の内容・方法と進度予定：
 - 第 1 回：ガイダンス
 - 第 2 回：発表と討議 (1)
 - 第 3 回：発表と討議 (2)
 - 第 4 回：発表と討議 (3)
 - 第 5 回：発表と討議 (4)
 - 第 6 回：発表と討議 (5)
 - 第 7 回：発表と討議 (6)
 - 第 8 回：中間まとめ
 - 第 9 回：発表と討議 (7)
 - 第 10 回：発表と討議 (8)
 - 第 11 回：発表と討議 (9)
 - 第 12 回：発表と討議 (10)
 - 第 13 回：発表と討議 (11)
 - 第 14 回：発表と討議 (12)
 - 第 15 回：まとめ
8. 成績評価方法：
 - 発表内容 (50%)、参加態度 (50%)
9. 教科書および参考書：
 - 教科書はとくに使用しない。受講者各自が事前に配布した発表資料によって授業をおこなう。
10. 授業時間外学習：担当者は、配付資料を丁寧に作成し、報告の 1 週間前にはそれを配付する。ほかの参加者は、配付された資料を良く読み、授業時における討論の準備を周到におこなう。
 11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness
 - ※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness
 - 《実務・実践的授業/Practicalbusiness》
 12. その他：なし

科目名：中国思想史総合演習Ⅱ／ History of Chinese Thought(Integration Seminar)Ⅱ

曜日・講時：後期 金曜日 5講時

セメスター：2学期 単位数：2

担当教員：三浦 秀一・齋藤 智寛

コード：LM25501， 科目ナンバリング：LGH-PHI614J， 使用言語：日本語

【平成30年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：中国思想研究上の諸問題2
2. Course Title (授業題目)：Major Issues in the Research of Chinese Philosophy 2
3. 授業の目的と概要：前期での発表や討議にもとづいて、受講者各自が、それぞれの研究テーマにもとづく論文の草稿を作成して発表するとともに、受講者全員が、その発表にもとづいて自由に討論する。
4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)：Based on the presentations and discussions in the former semester, each student will prepare and present a draft of a paper about their own research theme, and all students will discuss the paper.
5. 学習の到達目標：みずからの研究テーマに関連する学術論文を作成するうえで必要な基礎的技術および能力を向上させることができる。
6. Learning Goals(学修の到達目標)：Students will develop their own fundamental skills that enable to summarize preceding research and establish their own research topic.
7. 授業の内容・方法と進度予定：
 - 第1回：ガイダンス
 - 第2回：発表と討議 (1)
 - 第3回：発表と討議 (2)
 - 第4回：発表と討議 (3)
 - 第5回：発表と討議 (4)
 - 第6回：発表と討議 (5)
 - 第7回：発表と討議 (6)
 - 第8回：中間まとめ
 - 第9回：発表と討議 (7)
 - 第10回：発表と討議 (8)
 - 第11回：発表と討議 (9)
 - 第12回：発表と討議 (10)
 - 第13回：発表と討議 (11)
 - 第14回：発表と討議 (12)
 - 第15回：まとめ
8. 成績評価方法：
 - 発表内容 (50%)、参加態度 (50%)
9. 教科書および参考書：
 - 教科書はとくに使用しない。受講者各自が事前に配布した発表資料によって授業をおこなう。
10. 授業時間外学習：担当者は、配付資料を丁寧に作成し、報告の1週間前にはそれを配付する。ほかの参加者は、配付された資料を良く読み、授業時における討論の準備を周到におこなう。
11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness
 - ※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness
 - 《実務・実践的授業/Practicalbusiness》
12. その他：なし

科目名：中国思想文献研究演習 I / Literature on Chinese Thought (Advanced Seminar) I

曜日・講時：前期 水曜日 2 講時

Semester：1 学期 単位数：2

担当教員：齋藤 智寛

コード：LM13204, 科目ナンバリング：LGH-PHI615J, 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：清代学術の研究
2. Course Title (授業題目)：Reading and Research : philosophy and philology in the Qing dynasty
3. 授業の目的と概要：清代学術についての研究論文および原典を選読し、先行研究を的確に理解する能力および原典の精確な訳注を作成する能力をやしなう。
4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)：Students will read several research papers and original sources on Qing dynasty scholarship, and develop the ability to accurately understand prior research and create accurate translations of original sources.
5. 学習の到達目標：学術論文と原典の会読を通して、中国思想研究に必要な読書力を身につける。
6. Learning Goals(学修の到達目標)：Students have to acquire the reading skills necessary for the study of Chinese thought through reading academic papers and original texts.
7. 授業の内容・方法と進度予定：
 1. 導入
 2. 清代思想関連論文会読 1
 3. 清代思想関連論文会読 2
 4. 清代思想関連論文会読 3
 5. 清代思想関連論文会読 4
 6. 清代思想関連論文会読 5
 7. 清代思想関連論文会読 6
 8. 清代思想関連論文会読 7
 9. 清代思想原典会読 1
 10. 清代思想原典会読 2
 11. 清代思想原典会読 3
 12. 清代思想原典会読 4
 13. 清代思想原典会読 5
 14. 清代思想原典会読 6
 15. まとめ
8. 成績評価方法：

発表と討論での発言状況 (100%)
9. 教科書および参考書：

教科書は使用せず、プリントを配布する。
10. 授業時間外学習：予習のほか、未解決箇所は授業後に調べて次回の討論に備えること。
11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○"Indicates the practicalbusiness
《実務・実践的授業/Practicalbusiness》
12. その他：なし

科目名：中国思想文献研究演習Ⅱ／ Literature on Chinese Thought(Advanced Seminar)II

曜日・講時：後期 水曜日 2講時

Semester：2学期 単位数：2

担当教員：三浦 秀一

コード：LM23205, 科目ナンバリング：LGH-PHI616J, 使用言語：日本語

【平成30年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：荒木見悟博士「朱子の哲学」研究（続）

2. Course Title (授業題目)：Study on "Shushi no Tetsugaku (Zhu zi's philosophy)" by Dr. Kengo ARAKI

3. 授業の目的と概要：本講義では、受講者による輪番の形式で、荒木見悟博士の主著である『仏教と儒教—中国思想を形成するもの』(1963、新版1993)の「第三章 朱子の哲学」(第四節「所当然と所以然」以下)を読む。本文の要約と所引の原典に対する訳注とを作成し、それらについて討論をおこなうなか、原典の分析方法や思想内容に対する解釈の仕方を学習する。

4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)：In this lecture, students will read "Chapter 3 Zhuzi's Philosophy" in "Buddhism and Confucianism" (1963, new edition 1993), which is the main work of Dr. Kengo ARAKI. The purpose is to clarify the analysis method for the original text and the interpretation attitude for the philosophical content shown in this paper by Dr. Araki, so that each student can improve the understanding of Cheng-Zhu learning and the method of ideological analysis.

5. 学習の到達目標：朱熹の思想をその原典に即して理解する。「道学」の思考方法に通暁する。

6. Learning Goals(学修の到達目標)：Students will understand Zhu Xi's philosophy in line with the original text, and will also be familiar with the way of thinking of New Confucianism.

7. 授業の内容・方法と進度予定：

第1回：ガイダンス

第2回：第四節・所当然と所以然①

第3回：第四節・所当然と所以然②

第4回：第五節・本然の性と気質の性①

第5回：第五節・本然の性と気質の性②

第6回：第六節・四端説①

第7回：第六節・四端説②

第8回：第七節・未発と已発①

第9回：第七節・未発と已発②

第10回：第八節・持敬①

第11回：第八節・持敬②

第12回：第九節・格物致知①

第13回：第九節・格物致知②

第14回：第十節・豁然貫通

第15回：まとめ

8. 成績評価方法：

発表 60%、討議に対する参加態度 40%

9. 教科書および参考書：

教科書は使用しないがそれに準じるものとして下記2点の書物は必携。その他の参考文献は、随時紹介する。

荒木見悟『仏教と儒教』(1963:平楽寺書店、新版1993:研文出版)

荒木見悟責任編集『朱子・王陽明』(1978:中央公論社・世界の名著19)

The text will be handed out during the course. Reference books will be introduced during class.

10. 授業時間外学習：担当者は、配付資料を丁寧に作成し、報告の1週間前にはそれを配付する。ほかの参加者は、配付された資料を良く読み、授業時における討論の準備を周到におこなう。

The person in charge will carefully prepare the handouts and distribute them one week before the report. Other participants will read the handouts carefully and prepare for discussions during class.

11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

《実務・実践的授業/Practicalbusiness》

12. その他：なし

特になし。